



沖縄県恩納村

# 議会だより

No.167  
令和8年2月20日  
発行  
うんち

恩納村で頑張る

社会福祉法人  
恩納村社会福祉協議会 の皆様



恩納村社協  
キャラクター  
ぷくおんちゃん



3. だんのくらしのしあわせ  
社会福祉法人  
恩納村社会福祉協議会は心ふれあう  
“福祉のむらづくり”を  
めざします

## 目次

- 議決結果 ..... P2
- 議案概要説明 水道、乳児通園 ..... P3
- 一般質問 ..... P4～14
- 村民の声・交流会 ..... P15
- 議会の動き・広報研修会 ..... P16

記事担当: 比嘉 秀康



福祉避難所の運営訓練の様子

## 令和7年第7回恩納村議会定例会 議決結果一覧

議案番号	件名	議決日	議決の結果
議案第62号	恩納村税条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第63号	恩納村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第64号	恩納村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第65号	恩納村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第66号	恩納村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	12月10日	原案可決
議案第67号	恩納村立保育所型認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定について	12月10日	原案可決
議案第68号	恩納村立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第69号	恩納村水道事業給水条例の一部を改正する条例について	12月10日	原案可決
議案第70号	恩納村自治公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	12月12日	原案可決
議案第71号	令和7年度恩納村一般会計補正予算(第5号)について	12月12日	原案可決
議案第72号	令和7年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	12月12日	原案可決
議案第73号	令和7年度恩納村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	12月12日	原案可決
議案第74号	令和7年度恩納村水道事業会計補正予算(第1号)について	12月12日	原案可決
議案第75号	令和7年度恩納村下水道事業会計補正予算(第3号)について	12月12日	原案可決
議案第76号	恩納村ふれあい体験学習センターの指定管理者の指定について	12月12日	原案可決
議案第77号	令和7年度恩納村避難所等物品購入業務契約について	12月2日	原案可決
議案第78号	前兼久漁港用地護岸整備工事請負契約について	12月10日	原案可決
議案第79号	村立小中学校校務系PC端末購入業務契約について	12月10日	原案可決
	委員会の閉会中継続審査申出の件 (伊武部希望ヶ丘自治会の人件費に関する陳情審査特別委員会)	12月12日	決定
	議員派遣の件	12月12日	決定

## 議案第66号

### 恩納村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 「こども誰でも通園制度」

保育園などに通っていない0歳6か月～2歳(満3歳未満)のこどもが、  
保護者の就労の有無に関わらず利用できる制度です。

#### ●こどもにとって

家庭以外の経験・人との関わり  
同年代のこどもと触れ合いながら成長

#### ●保護者にとって

孤立感・不安感の軽減  
保育士へ子育て相談ができる

対 象：村内在住の0歳6か月～2歳(満3歳未満)で現在どの園にも在籍していないこども  
利 用 時 間：こども1人につき月10時間まで※恩納村では1単位2時間30分(月4単位まで)検討中  
一時保育との違い：理由を問わず利用可能。『すべてのこどもの育ちを応援』することが目的です。

## 議案第69号

### 恩納村水道事業給水条例の一部を改正する条例について 「水道料金の増額改定について」

将来にわたり「安全で安心な水」をお届けするために・・・

#### なぜ改定が必要なの？

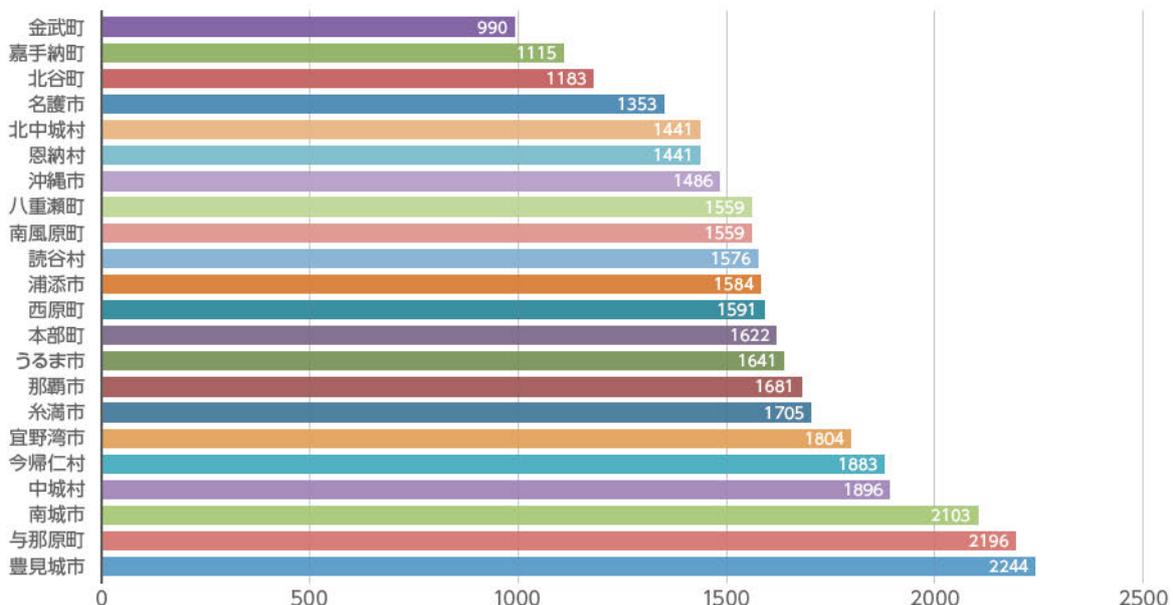
- ・県の受水料金が段階的に値上げ
- ・物価高騰による維持費の増加
- ・施設の老朽化と改修工事の増加

#### どんな内容なの？(恩納村の場合)

- ・目的：今後、10年間の安定経営の実現
- ・決定：水道料金改定審議会で承認
- ・議会：12月定例議会で可決
- ・改定率：20%の増額  
一般家庭用口径13mmの10トンあたりの場合(税込)  
¥1,199(改定前)→¥1,441(改定後)

村民の皆様にはご負担をおかけしますが、将来にわたり安定した  
水道サービスを守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

県内市町村水道料金比較表\*令和7年12月時点(円)  
一般家庭用口径13mmの10トンあたりの比較表(税込)  
(一部市町村が今後改定予定)



## 令和7年第7回定例会一般質問(12月3日)

亀谷 梢 議員

P5

- ① 空き教室の利用状況と活用方法について
- ② 学校・家庭・地域の連携協力推進事業について
- ③ 防災について

宮崎 匠 議員

P6

- ① 村指定緊急避難場所へのホテル等の事業所の追加指定について
- ② 各行政区版地域防災マップの作成及び各世帯への配布について
- ③ 更なる規制強化を踏まえたホテル等の建設に関する条例の厳格化について
- ④ 万座毛周辺活性化施設における観覧料の増額について
- ⑤ 無痛分娩への費用助成について

安里 周作 議員

P7

- ① 認定こども園開園に伴う健康福祉センター周辺の安全対策について
- ② さくらねこ(TNR)活動について
- ③ フリースクールについて
- ④ 農業振興基本計画の進捗状況について
- ⑤ 村内在住外国人について

喜納 正誠 議員

P8

- ① 漁業振興と海ぶどうの生産と今!
- ② 文化財普及事業について(山田城)
- ③ 観光立村 恩納とは!

新城 哲 議員

P9

- ① 安全・安心対策の拡充について
- ② 行財政改革の充実について
- ③ 財政基盤の強化について

## 令和7年第7回定例会一般質問(12月4日)

又吉 貢 議員

P10

- ① 不法投棄について
- ② 山田グスクについて
- ③ 前兼久漁港駐車場について
- ④ サステナビームュージックフェスについて

大城 節子 議員

P13

- ① ゆうなホールについて
- ② バス停留所の整備について
- ③ クリーン指導員について
- ④ 施政方針から文化の振興について

稲村 雅司 議員

P11

- ① サンゴの村宣言～世界一サンゴと人にやさしい村について
- ② 恩納村文化情報センターについて
- ③ 恩納村エコツーリズム推進協議会について

當山 直彦 議員

P14

- ① 障がい者の移動支援について
- ② 排水・し尿の処理の現状と今後の対応について
- ③ 資源循環型農業の推進とSDGs未来都市としての恩納村の取り組みについて

比嘉 秀康 議員

P12

- ① 障がい・高齢福祉事業所の地域福祉推進活動について
- ② 山田小学校内の学童施設の利便性について



## 令和8年第2回(3月)恩納村議会定例会

3月定例会は、3月4日(水)を予定しています。

お問い合わせ:議会事務局 ☎098-966-1199



亀谷 梢 議員

空き教室の利用状況と活用方法について

**質** 恩納保育所の活用について計画されているか伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

恩納保育所の活用計画は、子どもの居場所として、福祉課と教育委員会とで連携して、不登校児童生徒の居場所としての施設活用を協議・調整しているところです。十分な面積があることから併設して村内放課後児童デイサービスの施設としての活用も可能かどうか、村内事業所と引き続き意見交換、協議を行っていく予定です。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

恩納村教育支援センターとして位置づけ、小中学校に登校できない児童生徒の居場所の確保と学習体験を保障し、義務教育終了後の進学・就労につなぎ、ひきこもり状態を防ぐことを目的とすることを考えて検討します。

**質** 安富幼稚園の現状と活用について、園舎や駐車場の管理はどこが行っているか伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

令和6年度より休園となり、現在は使用されていません。施設管理については、教育委員会で行っています。係のほうで適宜、適切な管理を行っていきたいと思います。駐車場は、主に観光協会のように活用が多いので、観光協会のほうに草刈りなどをお願いして管理していただいています。

**質** 安富祖校だけ地域連携室がないということですが、安富幼稚園を利用して設置できないか見解を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

学校の意向を尊重したいと考えています。学校の要望としては、地域連携室として活用したいという意向がありました。必要な修繕改修を行い、活用を考えていきたいと思います。

**質** 地域連携室の活用状況と、利用手続について伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

学校を地域の方々との連携を強めていく目的で設置されていると考えます。利用手続は学校へ電話での申込みの後、学校で手続を行う。利用状況ですが、学校運営協議会、PTA活動、

各種講座等の活用であります。

学校・家庭・地域の連携協力推進事業について

**質** 学校・家庭・地域の連携協力推進事業についての状況を伺う。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

学校・家庭・地域の連携協力推進事業を進めるに当たり、学識経験者、学校経験者、社会教育関係者等で組織された学校支援地域本部運営委員会が設置されています。地域コーディネーターが主となり、学校の要望に沿ってボランティアの協力を得ながら、支援をしているところです。

**質** コーディネーターの役割と現在行っている業務を伺う。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

社会教育課に1名配置されています。主に学校の求めに応じ、職業人講話や調理・ものづくり体験授業などの学校教育活動へ地域の人材を紹介する業務のほか、担任の先生の授業立案・実施のサポートも行っています。児童生徒の地域理解、地元への愛着の育成に大きな役割を果たしているものと認識をしています。

**質** コーディネーターの増員の必要性はないか見解を伺う。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

近隣市町村では、各小中学校にそれぞれ1人ずつ地域コーディネーターが配置されている事例もあります。児童生徒の学びの支援を推進していくためにも増員を含めて、配置の在り方を検討しているところです。

防災について

**質** 村民の何日分の備蓄があるか伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）

備蓄倉庫を9基設置しています。各備蓄倉庫の中には300名の3日分の食料と日用品を備蓄しており、今後備蓄計画に定めた目標に向けて、整備していく計画をしています。

**質** 海に面している小学校に対して、防災グッズとして、ライフジャケットの備えの必要性はないか見解を伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

地震直後や津波警報時には、ライフジャケットを着用することよりも迅速な避難を最優先に行うことが重要と考えており、ライフジャケットの備えについては、慎重に検討すべき事項であり、恩納村として現時点では想定していません。



宮崎 匠 議員

更なる規制強化を踏まえた  
ホテル等の建設に関する  
条例の厳格化について

**質** 現在、本村においてホテルの建設ラッシュにより、自然破壊や交通負荷、地価の上昇等も含めた住環境悪化が指摘されている現状があります。実際に村民からも「もう恩納村にリゾートホテルは必要ない。これ以上、ホテルの建設は観光振興と地域のバランスが崩れることになる」という声があります。今後、無秩序な開発を抑制する明確な方針を条例や要綱等において示す必要があると考えられます。宿泊施設の過剰供給が続けば、将来的にこれまでの地域経済の不安定化や地域コミュニティの崩壊など、多くの由々しき事態を招く懸念があります。村として、適正規模の観光受入れ

人数を設定し、開発上限を定める方針を今後検討しているのかについて伺う。

**答** 企画課長（喜久山 隆）

都市計画区域外である本村においても1万平方メートルを超える開発については、都市計画法に準じ、沖縄県の開発許可を得る必要があります。許認可事務の権限が沖縄県にあることから、開発上限をどのような根拠で設定するのか等、多くの課題があると考えており、現時点では検討していません。

**質** 今後、県の開発許可を得ている宿泊室数が3,000室あります。この開発は止められないので、進めることしかできないと思いますが、そうなった場合、この宿泊施設ができた際に、村民の生活に支障を来さないのかというのが個人的な考えではあります。国内有数のリゾート地において、行き過ぎた観光振興により、危機感を抱いて、上位関係にある都道府県へ要望を出しているケースもあります。本村においても1万平方メートル以上の開発は上位法である県の開発許可を得られれば、実質開発できるようになっています。そこで本村においても「これ以上、恩納村においてリゾートホテルは必要ない」という姿勢を明確に県へ訴えていく、示していくことが必要

であると考えますが、村長の見解を伺う。

**答** 村長（長浜 善巳）

ホテル建設に関しては、村民、事業所もいろんな考え方があると思います。規制強化については議会、村民、また各団体も含めて合意形成を図り、本村で拘束力のある規制、あるいは先ほど議員が言ったことが実現できるのか、これは今後、全庁的に我々も取り組んでいきたいと考えています。

**提** 今後の村の方針を明確に定めていくため、各関係団体とまずしっかり意見交換を重ね、誰のための観光振興なのかを立ち止まって振り返ってみて考える。やはり第一は村民のためだと思いますので、村民が住み続けられる、そして住みたいと思えるような観光振興を進めていただきたい。

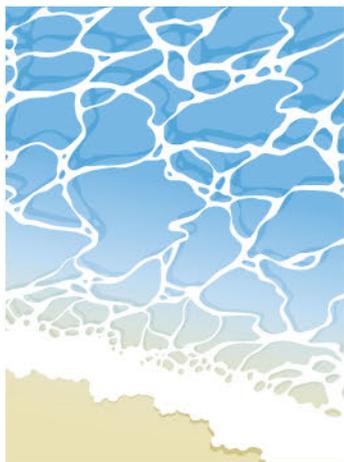
万座毛周辺活性化施設における  
観覧料の増額について

**質** 万座毛周辺活性化施設の規模、景観価値、サービス内容に対して、現行の観覧料100円では県内の類似観光地と比較しても著しく低く、適正な受益者負担の観点から見直しが求められています。近年の物価高により維持管理費や安全

対策費が増加しており、修繕費や日常的な管理コストが財政的に大きな負担となっています。この現状も踏まえ、観覧料の増額を村の未来への投資として位置づけ、「料金体系の多様化」「サービスの向上」「収益の透明化」「地域還元」「環境保全強化」の5本柱で取り組むべきであると考えます。村として、今後これらの提案を総合的に検討する場の設置について村長の見解を伺う。

**答** 村長（長浜 善巳）

観覧料の見直しについては、単なる値上げではなく、将来に向けた投資として捉える考え方は、村としても十分理解するものです。議員から御提示いただいた5つの柱は、万座毛の価値を高める上で参考となる視点であり、いずれも持続可能な観光地づくりには不可欠な要素であると考えています。指定管理者との連携を強化し、必要な支援や環境整備にしっかりと取り組んでいきます。





安里 周作 議員

認定こども園開園に伴う  
総合保健福祉センター周辺  
の安全対策について

**質** 総合保健福祉センターの歩道改修の進捗と、出口の道路の危険除去対策を伺う。

**答** 建設課長（當山 国博）

歩道は、所有者と交渉がまとまり次第、歩道改修工事に着手する予定です。出入り口に関する危険性は、道路の構造上や周辺地形の影響で大幅な改修ができない状況です。注意喚起の看板や道路標示設置が可能なかなど検討します。

**提** 国道事務所との相談も必要かと思えます。連絡を取って対応していただければと思います。

**質** 通学路の標示等、車への注意喚起が必要と考えます。考えを伺う。

**答** 建設課長（當山 国博）

現地確認を踏まえ、実効性のある安全対策の検討をしていきます。関係課と連携し、安全確保に向けた対応を進めます。

**質** 総合保健福祉センター内や、周辺の中央線や停止線が消えている危険な箇所があります。対策が必要と思うが考えを伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

村道認定も視野に入れて、関係課と調整し、仮の白線の標示改修を実施していく方向で協議しています。

**質** 認定こども園の開園後、農道を含めどのような対策を考えているか伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

周辺施設利用者への交通安全指導を含め、同センター周辺の安全確保に努めたいと考えています。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

年度内に園周辺の大型側溝にふたの設置、沈砂池進入防止柵の補修及び看板設置を進めます。

さくらねこ(TNR)活動について

**質** ボランティア活動の費用を活動者自ら負担しています。費用負担してもらえないか。

**答** 村民課長（山城 達也）

野良猫問題については、一朝一夕で解決するものではない。活動は多岐にわたっており、その活動全ての費用を当局が負担することは現状考えていません。ただし、さくらねこ活動に係る捕獲器やゲージ等については、消耗品として貸与する等早急に対応します。

**質** 行政運営は法律、条例、規則、要綱に沿って行われていると理解しています。考えは正しいか。

**答** 村長（長浜 善口）

さくらねこ活動に対しては、尽力いただいで感謝申し上げます。法律、条例、規則にのっとり、我々も事務などを進めています。

**質** 恩納村独自の条例、規則、要綱、要領を制定することで、TNR活動を継続的に実行できると思いますが、考えを伺う。

**答** 村民課長（山城 達也）

さくらねこ活動への支援に関しては、現時点で要領や条例等の整備が必要ない範囲で対応したいと考えています。今後、条例、要綱なり、必要であれば考えていきたい。

フリースクールについて

**質** 憲法に「義務教育は無償とする」。また国際人権法、世界人権宣言で「教育は、基礎的な段階において無償でなければならない」とある。フリースクールの学費等の援助の検討を考えてもらえないか伺う。

**答** 学校教育課長（親泊 誠）

公立学校へ通学する児童生徒の教材費について、一部支援を検討していません。昼食費と併せて、フリースクール等に通う不登校児童生徒への支援の在り方について検討します。

農業振興基本計画の進捗について

**質** 農業振興基本計画のメンバーと完成の期日は決まっているか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

メンバーの構成は、専門分野から8名、住民代表2名、学識経験者、村農業経営アドバイザー及び地域農業者の2名、事業者代表2名、合計14名で構成を予定しています。策定委員会は年2回の開催を予定しており、策定期日は3月中を予定しています。



喜納 正誠 議員

## 漁業振興と海ぶどうの生産と今

**質** 現状をどう認識しているのか伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

生産量が減少傾向にあり、生産量減少で考えられる主な原因としては、気候変動による海水温の上昇、全県的な海ぶどうの生育不良の発生、さらには養殖水槽の劣化に伴い、稼働停止水槽の増加等が挙げられます。

**質** 生産者から話を聞くと、厳しい状況であるが、村から水産業の奨励補助金があつて助かったと、お礼を言うてくれということである。厳しい状況にあつて、ぜひ村の支援を必要としているが、どういうお考えでそれに臨むか、どう取り組むかについて伺う。

生産者からすると、一日も早く生産量を増やしたいと希望に明け暮れているが、本当にできるのかと逆に疑いの愚痴が聞こえている。具体的な取り組む姿勢を伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

安定した水質や海水温が確保できる地点までの取水管の延長整備や既存施設から取水した海水を冷却する施設整備など、改善策の効果や事業規模を十分に精査した上で、国・県の補助事業

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

海ぶどうの生産量、生産額は近年減少傾向にあり、不作の中でも利用料は発生するため、収入が安定しない漁業者にとっては大きな負担になると考えています。水産業奨励補助金による養殖池利用料の一部補助を検討しています。

**質** 施設の整備強化について伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

現在、港内及び周辺海域での海水を取水していますが、港内は流れが少なく、海水が滞留しやすい環境で海水温は上昇しやすい傾向にあります。水深が深い海域からの取水であれば、より安定した水質や海水温の確保が期待でき、海ぶどうの養殖や他の用途への活用も見込まれます。O・I・S・Tや沖縄県などの関係機関と連携し、改善策の検討に取り組みたいと考えています。

**質** 生産者からすると、一日も早く生産量を増やしたいと希望に明け暮れているが、本当にできるのかと逆に疑いの愚痴が聞こえている。具体的な取り組む姿勢を伺う。

山田グスクの今後の計画について、三山統一に重要な役割を担った護佐丸が生まれ育った居城で、琉球の歴史を語る上で欠かすことのできないとても大切なグスクだと認識しています。地域振興については、今後も地域の意見を踏まえ、地域・関係部局・関係各課と調整・協議の下、今後整備計画等に盛り込む検討をしていきたいと考えています。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

山田グスクという埋蔵文化財、積極的に取り組んでいいのではないかとこの点から、仮設の道路をお願いしたいが。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

一般公開に当たっては、文化庁より安全対策を含めた保存管理活用計画を策定する必要があると指導をされているところです。

導入が可能なかどうか、今後検討していきたいと考えています。

## 文化財普及事業について

**質** 山田グスクの復元に向けての取り組みをどのような将来像に向かって行っているか伺う。

仮設の道路が独自でできるかどうかを聞いていますが、積極的に埋蔵文化財を世間に知らせるためには、そういうこともやっていいという答えなのか否かを伺う。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

山田グスクは、今現在の状態では安全にグスク跡を見学していただく状況ではありませんので、その部分の対策をしっかりと取るということで、関係機関と調整を図らせてもらい、具体的な公開に向けて進めていきたいと考えています。

## 観光立村恩納村とは

**質** 観光産業は多大な経済効果を実績として残している。これを持続するための計画を伺う。

**答** 商工観光課長（城野 正和）

沖縄の文化、歴史に関する深い知識の習得、持続可能な観光に関する意識向上研修など、積極的に実施することが必要だと思えます。これらの研修、視察、そして教育機関との連携を通じて、人を育て、知恵を取り入れ、恩納村の観光産業のさらなる発展に貢献できると考えています。



新城 哲 議員

安全・安心対策の拡充について

**質** 本村における無電柱化推進計画の現状と今後の方向性について。この計画の対象となる区域や道路の選定基準はどのように定められているのか。今後どのようなスケジュールで計画を策定し、具体的な事業化を進めていく考えかを伺う。

**答** 建設課長（富山 国博）

現在、国道58号、前兼久地区約1キロメートル、名嘉真地区約3キロメートルにおいて、北部国道事務所の主導により無電柱化推進事業が進められています。村としては、令和6年度に無電柱化推進計画を策定し、防災の観点から沖縄県の広域防災拠点である赤間総合運動公園へのアクセス道であり、緊急輸送道路に指定されている村道赤間線の無電柱化を優先的に進めることとしており、令和8年度から

始まる沖縄県第9期無電柱化推進計画での事業化に向け、現在取り組んでいるところです。今後も災害時の避難路確保や地域全体の防災力強化に向け、無電柱化を着実に推進していきます。

行財政改革の充実について

**質** 近年、業務の分野横断化が進む中で、縦割りを超えた連携が必要とされていますが、村としてはどのような体制や取り組みをもって、この課題に対応していくのか伺う。

**答** 総務課長（宮平 覚）

施政方針の中で「多様化する行政ニーズに対応するために横断的かつ柔軟な組織体制の構築を図る」とあります。これは文字どおり多種多様なニーズに対して適宜適切な対応をするために、縦割り行政や固定観念にとらわれることなく、時代の流れに沿った組織運営を意識することを意味しています。今、若年層の減少を受け、定住促進室を設置しています。直近では保育所、幼稚園を認定こども園移行に伴い、福祉部門の再編を現在検討しているところです。今後においても、住民ニーズ及び現場のニーズを踏まえた適切な組織体制の構築を進めていきます。

DX推進に当たって

**質** 業務の効率化や住民サービスの向上が重要であると考えます。村として、行政手続のオンライン化や住民の利便性向上をどのように進めていくのか、取り組みを伺う。

**答** 総務課長（宮平 覚）

行政手続のオンライン化、住民サービスの向上につきましては、まずはできるところからスマートフォンを基本とし、トライアンドエラーを繰り返しながら、効果を検証しながら拡大していくというところで考えています。具体的な取り組みとして、既にマイナンバーカードを用いた転出届のオンライン手続を開始していますが、今後はデジタル機器の利用に慣れ親しんでいる子育て世代の手続を重点的にオンライン化し、利便性の向上に努めていく方針です。窓口業務につきましては、申請書作成支援システムの導入や多言語対応については、現在検討しており、デジタル技術を活用して、「書かない・待たない」窓口の実現と、多言語にも対応した住民に寄り添ったサービスの提供を目指しているところです。



財政基盤の強化について

**質** 持続可能な財政運営に向けた重点的な取り組み方針について伺う。

**答** 総務課長（宮平 覚）

物価高騰やエネルギー価格上昇による村財政への影響については、近年の人員費や物件費、また維持補修費、普通建設事業費等の予算額、または決算額を見ると一定程度の影響は受けていると考えています。今後、村税やふるさと応援寄附金等の自主財源の安定的な確保や物価高騰対策に対する交付金や補助金、基金を活用しながら、持続可能な財政運営を図っていきたいと考えています。





又吉 貢 議員

不法投棄について

**質** 現在恩納村で不法投棄が年間何件あるか。対策はどのように行っているか。

**答** 村民課長（山城 達也）

不法投棄は現在山田2件、南恩納2件、恩納2件、小規模では4件発生しています。

不法投棄は林道沿いや山林、農道沿いの目につきにくい場所等で発生し、関係機関と連携してパトロールや投棄禁止の看板設置等を行ってまいりましたが、管理の厳しい場所への投棄がほとんどであり、投棄者の特定が困難なことが現状です。今後も不法投棄対策を継続するとともに、試験的に防犯カメラの設置も検討していきたい。

山田グスクについて

**質** 教育委員会では1990年から

調査、現在2025年になり35年が経過しております。これまでの成果をお聞きます。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

山田グスクは山田集落の東南に位置する標高90メートルの琉球石灰岩台地に立地する。昭和60年代の文化財調査まで、その全容はわからないグスクでありました。1986年から1988年にグスク中心部発掘調査及び測量調査を実施した、グスクは東西約30メートル、南北約160メートルに形成されており、野面積みの石積みや7か所の平場が確認され、平場には建物跡を確認している。その際建物数が数回建て替えられたことが判明しており、出土した史料には、14から15世紀に流通した諸外国よりもたらされた陶磁器のほか、日常生活で使われるグスク土器、ほかに長崎県産の石鍋、日本製の武器・武具・鍛冶を示すもの、遊戯具・銭貨などが多く発見されており、交易を中心にグスクが発展したことがわかりました。

**質** グスクの跡地が4,800平米のうち何%ぐらい発掘作業を終えているのか。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

公有地を中心に試掘、発掘を実施させていただいている。私有地は手が付けられない状況であり、現在の状況は低い調査率だと認識している。

**質** 村有地にしたのがどれくらいあるか。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

約80%になります。残り十数筆がまだ私有地であり、公有地化に向けて取り組んでいきたい。

**質** 80%ほぼ村有地化されている、それに合わせて発掘作業できないか。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

教育委員会としては、公有地化に向けて取り組んでいます。人員体制の問題もあり、村内では開発行為が複数件出ており、職員はその対応もしながらグスクの対応もしています。今後人員の増加についても検討しなければいけない。

**質** 人員配置を増やして一般会計から出せるのであれば、早期に発掘はできると理解しているか。

**答** 社会教育課長（仲村 泰弘）

人材が配置できれば発掘に関わる業務を中心にやることが可能ですが。

**質** 一般会計から出して一気に発掘するのでもいいと思います。村長の意気込みを聞かせてください。

**答** 村長（長浜 善巳）

今後教育委員会、総務を含めて調整しながら検討していきたい。

前兼久漁港駐車場について

**質** ゲート設置はいつ頃になるか、設置したらすぐ料金が発生するのか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

ゲートの設置は令和8年度中を目指しております。令和8年から有料化に向けた取り組みを実施したいと考えている。

**質** 前兼久内の個人駐車場の解約の解除も耳にしたのですが、村としてどうしているか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

収入が減ったということで関係者の皆様には深くお詫び申し上げたい。次年度は有料化に向けた取り組みを進める。

サステナビリティミュージックフェスについて

**質** 効果があったのか。

**答** 商工観光課長（城野 正和）

令和6年403人、今年1,695人と広範囲に浸透させるには全然足りないと感じています。集客力と影響力を高めるための新たな取り組みを含め検討していきます。



稲村 雅司 議員

サンゴの村宣言について

質 各課の取り組みは。

答 企画課長（喜久山 隆）

事業は全部で87事業、行動計画に沿って普及啓発、教育、人材育成、環境保全、産業振興の各分野で関係課が連携し取り組みを進めてきた。

質 新たな計画を改定する予定はあるか。

答 企画課長（喜久山 隆）

事業の達成率は83%となり、改善すべき事業も明らかになってきている。次期改定に向け、より実効性の高い計画となるように改定を検討していく。

質 今後、恩納村が「世界一サンゴと人にやさしい村」としてどのような姿を目指していくのか。

答 村長（長浜 善巳）

恩納村は「サンゴの村宣言」の下、教育や普及啓発、サンゴの植付け、また環境保全など、行政・住民・事業者が協力して取り組んできた。これらの積み重ねを基盤に、今後は子供たちがサンゴを誇りに思う学びの充実や科学的知見を生かした環境保全の強化に取り組み、環境に優しい観光と産業の確立を推進するとともに、恩納村に訪れる全ての人が、自然への優しさを実感できる村づくりを目指し、名実ともに「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指していく。

恩納村文化情報センターについて

質 図書館、観光情報フロア、多目的室の改善要望はあがっているか。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

恩納村文化情報センターではトイレ内に設置されている授乳室の設備や環境に対する改善要望、多目的室では、防虫対策、パソコン利用時のコンセント設置の意見がある。

質 トイレとは別で授乳室を設置する事に関しての見解は。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

施設と利用者の意見を伺いながら前向きに検討していければと考えている。

質 コンセントの設置要望は。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

施設の利用目的に沿って、改善できる部分については改善していきたいと考えている。

質 図書館の人員配置強化が必要ではないか。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

施設の安全かつ円滑な管理運営を行う上で改善が必要であると認識している。責任者となる正規職員が1名体制である現状は施設の管理上リスクがあり、この点については現場からも懸念の声があがっている。今後の人員配置について、施設の果たすべき役割や運営状況を総合的に判断し、効率的かつ安全な人員配置の在り方について検討していく。

恩納村エコツーリズム推進協議会について

質 推進協議会の設立の背景は。

答 村長（長浜 善巳）

恩納村の観光において、マリンスポーツは重要なコンテンツの一つである。一方で、利用者が集中する真栄田岬は許容量を超える利用者が訪れることによる環境負荷や地域への負荷、また安全面の問題等の弊害が懸念されている。持続可能な観光地域づくりを実現するためには地域のあるべき姿をイメージし、地域の実情に応じた具休策を講じる必要があることが設立の背景となっている。

質 マリンスポーツ分野における外国人インストラクターの在留資格制度に関する実態調査、制度課題の整理については。

答 商工観光課長（城野 正和）

協議会の中には県を含めて国の機関であったり、色々な方が参加している、沖縄県全体で対応が必要と考える、今後の協議の中で取り上げて意見していきたいと思っている。

提 海域でエコツーリズム推進法を活用する事例は、全国初のモデルにつながる重要な挑戦です。この取り組みを実りのある形としてぜひとも実現していただきたい。





比嘉 秀康 議員



障がい・高齢福祉事業所の  
地域福祉推進活動について

**質** 我が村における福祉課題の解決と福祉サービスの充実に向けて、現在、恩納村社会福祉協議会や民間福祉事業所が主体となり、地域福祉推進協議会を立ち上げ、地域のニーズを共有し、事業所間の連携強化、研修会の開催など、地域福祉の推進に大きく貢献していただいておりますが、そのような活動に対して、行政としてはどのような関わりを持っているのか伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

村内福祉関係事業所を取りまとめ、村の福祉課題を改善していく旗振り役として関わっていくことが福祉行政の役割と認識しています。

**質**

この協議会では、近年増加傾向にある様々な災害に備え、福祉避難所の機能強化についての検討や、また災害時の要配慮者支援体制の協議など、地域災害においても協議し、極めて重要な役割を担っていただいております。実際に被災した際には、現在の避難所の受入れ体制に人員不足が想定されます。そうなった場合に、都道府県単位で組織されておりますDWAAT（災害派遣福祉チーム）への派遣要請も有効になってくると思っております。ですが、派遣要請から決定までの時間の猶予がない場合もあります。いざというときに迅速に行動するためにも、事業所か恩納村独自のDWAATを結成したいとの思いに対して、当局の見解を伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

村においても県内外のDWAATの活動を参考に、関係機関と協力しながら体制を整えていきたいと思っております。

**質**

具体的政策として検討していただきたいと思います。令和6年度から活動していますその協議会ですが、こうした活動には予算が必要になってきます。結成当初は、自己資金によって運営されてきました。研修費、資料作成費、講師の依頼費等、今後継続していくには、活動資

金が非常に厳しくなっている状況です。本村の福祉の充実のためにも、活動資金の支援ができないでしょうか。見解を伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

現在は、沖縄県社会福祉協議会からの2百万円程度の助成金を活用し、アドバイザーを年間契約していただき、令和8年度までは活動資金は確保されている状況であります。令和9年度以降は活動費が確保できない状況から、令和9年度以降、内容、時期等を精査して、関係団体と協議、調整して、できる限り予算の確保に努めていきたいと思っております。



▲恩納村福祉推進協働実践事業合同研修会の様子

山田小学校内の学童施設の  
利便性について

**質**

小学校の裏にあり、かつては多目的特別教室が利用していただきました2階をリフォームしていただき、活用している状況であります。ですが、その教室にはトイレがなく、屋外トイレを使用せざるを得ない状況にあります。外にあるため、低学年はトイレに行くのに、階段下の外灯が暗くて怖いから躊躇したり、雨の日はひさしがないため雨にぬれるので行きたくない。雨にぬれると階段が滑るので危ない。職員が目が届かないので防犯面の不安などの、利便性についての多くの意見が保護者や事業者から寄せられております。これらの状況を、行政として何らかの改善策を検討できないか伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

雨降り等の低学年の児童の使用に支障が出ていると、学童クラブ連絡協議会で報告を受けております。屋外トイレへの移動が安全に行われるよう学童クラブ職員と協議を行っているところで、次年度あたりに雨よけ等の改修を行っていききたいと思います。



大城 節子 議員

ゆうなホールについて

質 ゆうなホールの舞台に出演者が上る際の階段に手すりがなく、上るときに転倒、骨折でもしたら大変なことになります。転ばぬ先の杖、早急な対応が必要だと思いますが、当局の対応について伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）

ゆうなホールの舞台への上り下りは、今後予想される高齢者や身障者とかの上り下り、大変な状況になると認識しています。指定管理者、観光協会と連携を図って早めの対応を検討します。

バス停の整備について

質 村内のバス停は、屋根とベンチが設置されている箇所と標識（案内板）だけの箇所がありますが、管轄はどこか伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

バス停の標識は、路線バス事業者、バス停上屋は、北部国道事務所、あとは村のほうで管轄しています。

質 村内のバス停は名護行き那覇行き計76か所ありました。最近をよくバス停を利用する観光客を見かけるのですが、屋根がなくベンチがないバス停では、暑い日差しや雨の中は申し訳ないような気がします。観光リゾートと言われる恩納村にふさわしくない気がします。今後、宿泊税も導入され観光客に対しておもてなしをする意味でも、バス停をきれいに整備することにより、地域の免許返納者や高齢者も気軽に利用できると思います。

答 総務課長（宮平 寛）

宿泊税も財源に含めながら、観光客にも配慮したバス停整備ができればと考えています。

提 観光客だけじゃなくて、お年寄り、免許を返納した人たちが気持ちよくバス、公共機関を利用しやすいような環境をつくっていただきたいと思います。

クリーン指導員について

質 クリーン指導員が設置されてから

答 村民課長（山城 達也）

20年余になると思います。今ではゴミの分別については保育園、幼稚園の時から教えますので、ゴミの分別も確実になり、達成されたと思いますが、これからも指導員として設置されるのか伺う。

運搬車両が通行できない狭小の場所等の区域については、ゴミステーションを設け、そこから収集運搬をしており指導員の任務が必要な行政区については、引き続きクリーン指導員を配置します。

施政方針から文化の振興について

質 ナビー屋敷跡地の整備について

観光的資源、教育的資源として理解しているが、整備について具体的な計画はありません。恩納区や関係機関と検討協議していただくと答弁されたのですが、その後どうなったのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

社会教育課としての整備は、現在も具体的な計画はありません。将来的な整備については文化行政を担当する課として関係課と連携していきたいと考えています。

質 ナビー屋敷跡地は徒歩で何分もかかりません。皆さんはご覧になったことはありませんか？ご覧になって、整備について具体的な計画はありますかと言えるのでしょうか？お気持ちを聞かせください。

答 恩納村長（長浜 善司）

将来的な整備に向けて恩納区との意向を確認した上での整備が必要じゃないかと思っています。今後も、地元の同意、協力なしでは、この整備を進める事はできませんので、恩納区への協力を求めていきたいと思っています。

質 当局に提案ですが、恩納区所有の土地とナビー屋敷跡その一画を公園整備することはできないか。公園化することで区民の憩いの場所となり、マッコウヤの石碑も日の目を見ることができ、ナビーも、その日を一日千秋の思いで待っていると思うのですが。

答 企画課長（喜久山 隆）

ナビー屋敷跡地は個人所有地となっており、その後ろに字が所有している公園があり区長さんに確認したところ、公園以外に使用するつもりはないと伺っており今後一体的に整備できるか区の意見もお聞きしながら計画していきたいと考えています。



當山 直彦 議員

障がい者の移動支援について

**質** 障がい者の移動支援の現状を伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

次年度から利用しやすい障がい者移動支援事業として制度化するため恩納村社会福祉協議会と再開の協議・調整を進めているところです。

**質** 移動支援の具体的支援内容を伺う。

**答** 福祉課長（石川司）

自立生活及び社会参加を促すことを目的とした余暇活動、買物支援、社会参加活動など広く利用ができる制度設計を考えています。



排水・し尿の処理の現状と今後の対策について

**質** 処理施設の老朽化、接続制限への対策を伺う。

**答** 村民課長（山城達也）

長尾苑は築44年、石川終末処理場は築53年が経過しており両施設の統廃合による建て替えを実現するため沖縄県、うるま市、金武町、嘉手納町、恩納村、読谷村で協議を進めています。また金武町、うるま市と共同で石川終末処理場内のし尿等処理施設の更新工事の実施及び恩納村農業集落排水施設敷地内に、し尿等前処理施設を整備し、安定的にし尿等を処理するための対策を実施しています。

**質** 上下水道課長（金城正道）

山田地区内において、小規模事業所及び一般住宅の接続が増え、施設の処理能力超過が懸念されることから下水道への新規接続をお断りして合併浄化槽の設置をお願いしています。今年度、処理施設の計画戸数及び処理水量等の見直しの検討を行っています。

**質** 災害時に備え村内で最低限の排水・

し尿処理能力を有する分散型処理体制の整備が必要だと考えるが、当局の見解を伺う。

**答** 村民課長（山城達也）

整備予算に莫大な費用を要することから、単独での施設整備は厳しいと考えます。災害時の対応として、うるま市・金武町・嘉手納町・読谷村の関係5市町村で立ち上げた連絡会議において、他の広域処理施設と災害協定の締結を進めるとともに、現在整備中の恩納村し尿等前処理施設を有効に活用することを優先に進めていきます。

資源循環型農業の推進とSDGs未来都市としての恩納村の取り組みについて

**質** 増える観光客のうんこ・しっこを活用した資源循環型農業に対する当局の考えを伺う。

**答** 農林水産課長（平安名盛常）

化学肥料の使用量を抑えることによる経費削減、環境負荷の軽減等が見込まれます。さらに障がい者や高齢者の就労機会の創出が期待できる一方で、整備費や維持管理費の負担が大きいこと、下水道汚泥の利用に対する不安や懸念を払拭し、安全性や有効性を理解してもらうための周知・啓発も必要だと考えます。

**質** OISTと連携した資源循環型農業の促進について当局の考えを伺う。

**答** 定住促進室長（大城保洋）

OISTの技術と知見を活用することで処理水や汚泥を再利用する資源循環型農業の促進が期待されます。OIST研究ユニット及びスタートアップ企業等との協議の必要性があればOISTへ繋げていきたいと考えています。

**質** うんこ・しっこを「厄介なもの・捨てるもの」ではなく「宝もの・生かす資源」と捉えて活用することに對する村長の考えを伺う。

**答** 村長（長浜善巳）

環境負荷の低減や農家のコスト削減はSDGsの目標達成の成果になり得ると考えますが、化学物質や重金属が含まれる可能性があることや、費用対効果等を慎重に検討する必要があると考えています。



▲液肥を活用したパミスサンド（軽石）栽培

日々の暮らしで感じたことや「こうなったらいいな」という思いを、  
気軽にお寄せください。



## 長堂 正顕さんからのご意見

恩納村は観光立村として観光で訪れる多くのお客様をお迎えしています。私たち村民・区民にとっても、日常的に安心して暮らせるよう、バリアフリー化や夜間の街灯照明の充実は、日々の安心・安全につながります。来村される皆さまにとっても、より優しく過ごしやすい環境づくりを進めてほしいと願っています。

## うんな中学校に通うお子さんの父母からのご意見

先日授業参観で感じた事ですが、学校給食の時間が少し短いように見受けられました。授業が終わって片付け、配膳を終えるとゆっくり食べる時間があまり残らず、子どもたちが慌てて食べているようで少し心配になりました。給食は栄養を摂るだけでなく、楽しく食事する事やマナーを学ぶ場所でもあると思います。また、時間がないので食べ残してしまう子もいると聞きました。現在の食事時間について一度見直しが必要ではないかと感じました。

## 全国の議会とつながる恩納村 - 交流を通じて学びと連携を深める -



北海道石狩市議会交流会



広島県坂町議会交流会



長野県南相木村議会意見交換会

10月27日には友好姉妹都市である北海道石狩市議会、翌28日には広島県坂町議会との交流会が開催され、各自治体の現状や恩納村の取り組みについて情報共有を行い、相互理解と連携を深めました。

また、11月4日には長野県南相木村議会と「議員のなり手不足」をテーマに意見交換を行い、課題解決に向けた協議を進めました。

今後も他自治体との交流を通じて、議会活動の充実と地域課題の解決に取り組んでまいります。



# 議会の動き

## 10月

4日 喜瀬武原まつり	議長	22日 議会運営委員会	
6日 瀬良垣区豊年祭	議長	議会広報委員会	
7日 沖縄県町村議会議長会・定例総会	議長	23日 第6回10月臨時会	
8日 町村議会議員・事務局職員研修会	議長・議員	26日 宜野座村まつり	議長
11日 うんなまつり(11日～12日)	議長・議員	27日 北海道石狩市議員交流会	議長・議員
14日 要請決議手交(沖縄県議会)	議長・議員	28日 北海道石狩市表敬	議長
15日 議会広報委員会		広島県坂町表敬	議長
議会活性化特別委員会		広島県坂町議員交流会	議長・議員
18日 令和7年度うんなフェスタ	議長	29日 議会活性化特別委員会	
仲泊区敬老会	議長	議会広報委員会	

## 11月

2日 まえだまつり	議長・議員	16日 南恩納区豊年祭	議長
4日 長野県南相木村議会意見交換会	議長・議員	19日 北部広域市町村圏事務組合議会	議長
4日 要請決議手交(沖縄県部局)	議長・議員	第66回臨時会	
5日 議会広報委員会		20日 鹿児島県天城町行政視察	議長
9日 仲泊小学校運動会	議長・議員	「農家さんのなかゆくい」感謝の集い	議長
11日 第69回町村議会議長全国大会	議長	27日 北部市町村議会議長会 定例総会	議長
(11/11～11/13)		27日 議会運営委員会	
14日 令和7年度商工会会員親睦忘年会	議長	29日 赤間野球場屋根増築工事 安全祈願祭	議長

## 12月

2日 第7回12月定例会(開会)		10日 総務文教財政委員会	
3日 第7回12月定例会(一般質問:5人)		広報委員会	
4日 第7回12月定例会(一般質問:5人)		11日 総務文教財政委員会	
5日 総務文教財政委員会		議会活性化特別委員会	
経済建設民生委員会		12日 第7回12月定例会(閉会)	
8日 総務文教財政委員会		14日 山芋まつり(宇加地区)	議長・議員
経済建設民生委員会		15日 第4回恩納村特産品料理コンテスト	議長
議会運営委員会		20日 名桜大学 開学30周年・公立大学法人化	議長
9日 恩納村建設業者会忘年会	議長	15周年記念式典・祝賀会	
経済建設民生委員会		22日 漁業組合表敬	議長
		26日 仕事納め式	議長

## 身近な議会広報へパワーアップ!! ～議会広報研修会～



- テーマ** 広報から議会が透ける  
～「見出し」は「身だしなみ」～
- 開催日** 令和8年1月28日(水)
- 場所** 自治会館2階大ホール  
こえじ しんいちろう
- 講師** 越地 真一郎氏  
(議会広報ファシリテーター、熊本学園大学招聘教授)
- 参加者** 広報委員6名全員  
(左から比嘉、新城、稲村、亀谷、大城、宮崎)

これからも議会広報の  
発信強化に努めていきます。